

平成 27 年度 会派調査研究報告書

(視察先 1 箇所につき 1 枚)

会 派 名	日本共産党
事 業 名	「第 39 回自治体政策セミナー in 埼玉」への参加
事 業 区 分	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">研究研修</div> 調査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

テーマが「人口減少時代の地域の再生と「地方創生」の課題」というタイトルで、サブタイトルは「自治体消滅論、「地方創生」施策の検証と対抗軸」というので、上田市でも大きな課題となっており、参考になればということで参加しました。

2 実施概要



○写真左 平岡和久さん
写真右 岡田知弘さん



実施日時	主催	研修会場
平成 27 年 5 月 31 日 10 : 00 ~ 16 : 00	自治体問題研究所	さいたま共済会館ホール

1・2 さいたま市の概要と特徴

< 研修会参加のため省略 >

3 研修事項について

会派所属議員のうち、渡辺正博市議が所要のため参加できず、3人で参加しました。

研修会のプログラムは次の通りです。

第39回 自治体政策セミナー in 埼玉

人口減少時代の 地域の再生と「地方創生」の課題

—自治体消滅論、「地方創生」施策の検証と対抗軸—

2015年 5月31日(日) 10:00～16:00

会 場 さいたま共済会館ホール
さいたま市浦和区岸町7-5-14 Tel.048-(822)-3330

定 員 160人

参加費 研究所個人会員 5000円／一般 6000円

わが国の人口は、今後、長期にわたって急速なテンポで減少し、住民の暮らしや地域、自治体のあり方も大きく変わります。それをどう克服し、持続可能な地域、自治体を構築していくかは喫緊の課題です。こうした中、安倍+日本創成会議は「自治体消滅」論を展開し、政府も「地方創生」を打ち出し、既に長期ビジョンと総合戦略、地方創生予算も決定しました。

今後、各自治体は地方振興戦略と人口ビジョンを策定しますが、課題は山積しており、地域格差の拡大や民間シンクタンク等への丸投げも懸念されています。

いま大事なことは、住民福祉の向上を図るため、国の責任、役割を明らかにすると同時に、自治体自身が住民、職員、議員、町内会・自治会、地元企業、研究社等と連携して地域の再生に取り組んでいくことです。

今回は、こうした情勢と視点から下記の内容で緊急に自治体政策セミナーを開催することにしました。自治体関係者、議員、市民の皆さんの積極的な参加を期待しています。

講義 (10:00～12:30)

講義1 「持続可能な地域を目指して
～「地方創生」の論点と課題、対抗軸」
岡田 知弘氏 (京都大学大学院経済学研究科教授)

講義2 「2015年度地方財政計画と地方創生予算、自治体の課題」
平岡 和久氏 (立命館大学政策科学部教授)

報告と討論、まとめ (13:30～16:00)

「地方創生」を巡る各地の取組状況と課題
(コーディネーター) 平岡 和久氏 (時言者) 岡田 知弘氏

報告1 日野町の総合計画推進と地方創生の取組 古道 清氏 (同町前企画振興課長)

・ 2 「連携中核都市圏」構想の進捗状況と課題 今西 清氏 (自治体問題研究所)

・ 3 議会・地域での取組 (セミナー参加議員他)

●主催・申込先 **自治体問題研究所**
〒162-8512 東京都新宿区矢来町123 矢来ビル Tel.03-3235-5941 Fax.03-3235-5933

「地方創生」をめぐる各地の取り組み状況と課題



写真は、4人の報告者です。

まとめ

- ・東日本大震災に続いて、火山噴火や局地的集中豪雨など大災害がおき、一方でグローバル経済化が進んでいる。この中で、自分たちの生活領域である地域から見る事が強調された。
- ・地域社会の経済主体は中小企業・業者・農家・協働組合・NPO そして地方自治体であり、それらの力を強くすることこそが重要。
- ・「政府の地方創生総合戦略」は、アベノミクスの第3の矢である成長戦略を地方創生の名で進めるものであること。
- ・地域からの報告は、滋賀県日野町の古道清氏（日野町職員）が日野町の総合計画推進と地方創生の取り組み。
- ・今西清氏（自治体問題研究所）は、「連携中枢都市圏」構想の進捗状況と課題。
- ・参加者からの質問や報告が相次ぎ、午前10時から始まった研修会は、午後4時過ぎには終了した。
- ・国が打ち出しているさまざまな施策をどう見るか、どう生かすかなど大変勉強になりました。

平成27年6月議会において、「『まち・ひと・しごと創生』地方版総合戦略及び第二次上田市総合計画について」を一般質問の項目として取り上げ、研修の中身を生かしました。